第185号　1909. 8. 12.

明治四十二年八月十二日（木曜日）　第百八十五號（一）

（毎月十一日第三種郵便物認可）（毎日曜及祭日の翌日休刊）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●我が信條

○宇宙觀（下）

南外隠士

此に至りて余は未だ唯一元素の何たるかを現實に見出さゞる内早くも宇宙の何物たるやを想像し得らるゝ如く思ふ、宇宙は何なる方面より見るも微塵微尾絶對のものである、始あるに非ず終あるに非ず、之を大なる、小なりと觀れば無限の大、小なりと觀れば萬有擧て動搖し靜なりと見れば万有擧げて靜なり、形も心も之ありと見れば之なしと見れば又宇宙を包含し萬有又宇宙を包含す、此理恰も人間の身體は幾多諸元素の化合又綜合によりて成る、是等諸元素の化合又綜合は同時に禽獸草木となり金石ともなる、人間を主として觀すれば是等諸元素は人間の体内に包含せらるゝ諸元素を主として觀すれば人間禽獸草木金石皆其内に包含せらるゝ、宇宙と萬有との關係亦斯の如くである、さて宇宙の眞想は不完全ながら先づ上に想像する如きものとして此に續いで研究したいのは宇宙と人生との同化と云ふ事である、宇宙に包含せられ而して宇宙を包含する此人間は趣味ある問題であると思ふ、人間は宇宙に同化して始めて生死とか苦樂とか云ふ相對の域を離れ絶体の境遇に到達し得るのである、能く此境遇に到達すれば大に天地日月の意を解し小は草木金石の氣にも通じ得るのである、万有を月と觀じ花と眺むるも此時である、さて此至妙極致の境遇に到達するはそも何れの道よりすべき、是れぞ人間の研究する問題中の最大問題で又最後の問題であると思ふ

人間が宇宙に同化する道は二つある、其一は所謂進化の理に連れて人間の形と心と共に昇上し遂に個性の極大たる宇宙に合一するのである、其二は所謂進化の順序を逆降し終りに個性の極小たる宇宙に合一するのである、或人の説に日月星辰を網羅する此天體は其始め唯一體なりしが漸次分裂今の狀態になれりと、是れ個性降下の理に合するのである、然るに其後又漸く諸星の合同行はれ統一の傾向ありと、是れ個性昇上の理に合するのである、人間が既往に鑑み其將來を察するに今は昇上の途にあるが如しされど人間が進化の順序を追ふて其個性を極大に發揮し、遂に宇宙に合一するの時は幾億萬年の後なるや知るべからず、反對に進化の順序を逆降し其個性を極小ならしめて宇宙に合するの道を選ぶも其到達は是れ亦幾億萬年の後なるや知るべからず、こゝに一徑路がある、形を先にし心を伴ふて宇宙に合するの道を採らず唯其心を以て直に宇宙に通ずるのである、心は形に宿る、されど形は其實心の影、個性の極大にして御無用と申上たる義理を今又説明仕して極小たる宇宙の心は其形と何の分つ所も候ふは、天子へ對し奉つて議論を逞しうするの恐れがございまする、次に三卿御下

形亦自ら宇宙に化せん、蓮花を美とし泥土を醜となすも墨莫人間の個性に基く觀察、個性の編致たる宇宙より觀れば人間の形と心と其事情を尋ねん爲めに宇宙の何物たるやを想像し得らるゝ如く思ふ、宇宙は何なる方面より見るも微塵微尾絶對のものである、始あるに非ず終あるに非ず、之を大なる、小なりと觀れば無限の大、小なりと觀れば萬有擧て動搖し靜なりと見れば万有擧げて靜なり、形も心も之ありと見れば之なしと見れば又宇宙を包含し萬有又宇宙を包含す、此理恰も人間の身體は幾多諸元素の化合又綜合によりて成る、是等諸元素の化合又綜合は同時に禽獸草木となり金石ともなる、人間を主として觀すれば是等諸元素は人間の体内に包含せらるゝ諸元素を主として觀すれば人間禽獸草木金石皆其内に包含せらるゝ、宇宙と萬有との關係亦斯の如くである、さて宇宙の眞想は不完全ながら先づ上に想像する如きものとして此に續いで研究したいのは宇宙と人生との同化と云ふ事である、宇宙に包含せられ而して宇宙を包含する此人間は趣味ある問題であると思ふ、人間は宇宙に同化して始めて生死とか苦樂とか云ふ相對の域を離れ絶体の境遇に到達し得るのである、能く此境遇に到達すれば大に天地日月の意を解し小は草木金石の氣にも通じ得るのである、万有を月と觀じ花と眺むるも此時である、さて此至妙極致の境遇に到達するはそも何れの道よりすべき、是れぞ人間の研究する問題中の最大問題で又最後の問題であると思ふ

人間が宇宙に同化する道は二つある、其一は所謂進化の理に連れて人間の形と心と共に昇上し遂に個性の極大たる宇宙に合一するのである、其二は所謂進化の順序を逆降し終りに個性の極小たる宇宙に合一するのである、或人の説に日月星辰を網羅する此天體は其始め唯一體なりしが漸次分裂今の狀態になれりと、是れ個性降下の理に合するのである、然るに其後又漸く諸星の合同行はれ統一の傾向ありと、是れ個性昇上の理に合するのである、人間が既往に鑑み其將來を察するに今は昇上の途にあるが如しされど人間が進化の順序を追ふて其個性を極大に發揮し、遂に宇宙に合一するの時は幾億萬年の後なるや知るべからず、反對に進化の順序を逆降し其個性を極小ならしめて宇宙に合するの道を選ぶも其到達は是れ亦幾億萬年の後なるや知るべからず、こゝに一徑路がある、形を先にし心を伴ふて宇宙に合するの道を採らず唯其心を以て直に宇宙に通ずるのである、心は形に宿る、されど形は其實心の影、個性の極大にして御無用と申上たる義理を今又説明仕して極小たる宇宙の心は其形と何の分つ所も候ふは、天子へ對し奉つて議論を逞しうするの恐れがございまする、次に三卿御下

さらば如何にして人間の心直に宇宙に通じ得べき、こは他なし先づ其個性を去るにある、自己の何某たるを忘れ自己の人間たるを忘れ自己を去りて又他の人間他の物體ある事を想はざるにある、こゝに我なく彼なく心自ら絶體の域に入りて宇宙に通ずるのである、恰も人間の身體は幾多元素の化合又綜合に成る、是を解いて本來の元素に復し更に又解いて最後の唯一元素に歸せしめたならば人間の形體はこゝに宇宙の眞想に到達すべきが如く人間の心又斯の如くにして宇宙に通ずるのである。（續）

（新刊紹介）

●東京經濟雜誌（千五百二號）大隈伯の國際的商工業、尾崎行雄氏の市政談と共に一讀の價値あり其他例に依り記事完備（發行所東京彌左衛門町東京經濟雜誌社）

●大坂仕入案内（七月號）商業界の栞として商家に取りて重寶する雜誌也（發行所大坂京町堀大坂仕入案内社）

第廿二席　桃川燕玉演

ろこで家齊公は越中守始め老中若年寄三奉行、此等を御呼出しになつて「今度京都へ於て、此方から御返答致すまで必ず御號宣下御見合せあるべしとの事は先以て恐悦の至り、就て京都より先達て書面を以て義理分明の返答致すべしと仰せ下されたるが、此返答は如何致す、三卿呼下しの一條は是は御見合せに就き仰せ付けられすとあるが承知致すべきか、汝等一同存寄りを申述べよ」と一同に諮つて何でも京都で尊儀に就ては先達御沙汰がございましたから、松平越中守進み出で「恐れ乍ら此同席の者篤と相談仕りました、併し未だ一決を致しませぬが、私存寄りを申上げます、既に勅諚再三に及びましたるを、拒み奉るは其憚り少からず、なれども天下の爲には換へ難き故、其儀に及びましたるは是非なき次第、然るに禁裏に於かせられて御見合せ仰出されましたる事は最も恐入つたる儀にございまする、御承知遊ばされ、御見合せ仰出されまして直に宇宙に通ずるの道を採らず唯其心を以て御無用と申上たる義理を今又説明して極小たる宇宙の心は其形と何の分つ所も候ふは、天子へ對し奉つて議論を逞しうするの恐れがございまする、次に三卿御下

御説明もなくて、御見合せを幸ひに宜下を停止致されますれば、恐乍ら德川十一代の將軍家には、理非をも仰せられずして京都に逆らひ、威力を以て叡慮を壓付け奉つたと天下後世の物笑ひに相成ります、速に義理分明の御返答を仰せ進せられまする様、又三卿呼下しの事は、越中果して京都に憚り奉る所存にムい升れば初めより致し て近例も之なきに何で三卿參向の儀を申上げる、既に御名器は輕からず云ふ言葉を以て辨論の緒を開きながら、以今に至つて彼れ是れ說明もなくて、御見合せを幸ひに宜下を停止致されますれば、恐乍ら德川十一代の將軍家には、理非をも仰せられずして京都に逆らひ、威力を以て叡慮を壓付け奉つたと天下後世の物笑ひに相成ります、速に義理分明の御返答を仰せ進せられまする様、又三卿呼下しの事は、越中果して京都に憚り奉る所存にムい升れば初めより致して

京城新報　第百八十五號（木曜日）　明治年四十二八月十二日　（月曜日祭日を除日休刊）（日刊）（二）

美術半衿帶上帶締其他紐類各種新荷着夏物大安賣

京城明治町一丁目　ふり德商店

京城新報

愛國婦人會の昨今

愛國婦人會何者ぞ、變生女子故奥村某の主唱と強力によりて成立したる我國有數の婦人團体也、曾て戰時中に於ては國家に對し多少貢献する所ありしは余輩のみならず何人も亦識認する所也

然るに今や同會の東京本部は殫々の醜聞を續發し、世人をして殆ど唾棄せしむる迄に堕落せり、余輩は素より此一個婦人團体の盛衰が國家社會の休戚に關すべしとも思はず、然れども全國に亘りて多數の會員を有するのみならず、余輩の移住地たる當半島に迄多くの會員を有する同會が昨今の如く堕落するに至りては、如何なる影響を社會人心に波及すべきかを思へば聊か寒心に堪ざるものあり、是れ余輩が一言を禁ずる能はざる所以也

愛國婦人會はもと之れ宗教團体にあらず、社交團体若しくは政治團体にもあらず、奥村某の會て主唱せる所を記憶する余輩の解釋にては愛國を標榜せる戰時に於ける一種の慈善團体なりとす、米國には此團体と類を等しくせる「革命の娘」なる一種の團体あり然れども其性質に於ては頗る趣を異にし革命の娘は所謂其名の如く、社會の改善乃ち婦風を標準とす、是を以て此團体は永久的の性質を帶ぶ、愛國婦人會は之に異りて只一時的の團体たる面影あり、若し夫れ戰時に於て婦女子の總てが能く率公の道を盡すは素より美事なれども、赤十字社ありて機關頗る整備せるを以て他に何等の機關を要せざる也、然るに特に愛國婦人會なる一團体が赤十字社以外に現出したる所以は畢竟奥村某の熱心なる主唱に虚栄心強き我國婦女子が何等勢せずして率公の美名を贏ちえんとする爲に附和したるが爲ならんか愛國婦人會は斯の如くにして世に生れたり、戰時に於てこそ多少の働をなし得たるも平時に在りては同會活動の目的なき爲に徒に其會名を維持するに止るのみ、戰爭中は社會の總てが情想の高潮せる爲に其熱の爲に活動もなし且つ其間は同會の生命も持續したれども既に情想退潮し目的去るに於ては勢ひ會規の弛廢し來るは當然也、役員間には互に排擠を事とし或は婚德を汚す者さへあるに至りも也、聞て韓國に於ける同會本部及各地の狀態を見るに東京に劣らざる醜態、亦役員中には婚德を疑はるものあるを聞く、果して事實なりや否は知らざるも余輩は必ずしも全然浮説とのみ信ずる能はず既に生命を失ひたる同會は今は一の變生社交團體と化し去りて、其役員は徒に服裝の美を競ひ容色の優劣を比較するの虚栄團に堕落せり、余輩は素より此一個婦人團体の盛衰が國家社會の休戚に關すべしとも思はず、然れども全國に亘りて多數の會員を有するものあり、是れ余輩が一言を禁ずる能はざる所也

愛國婦人會はもと之れ宗教團体にあらず、社交團体若しくは政治團体にもあらず、奥村某の會て主唱せる所を記憶する余輩の解釋にては愛國を標榜せる戰時に於ける一種の慈善團体なりとす、米國には此團体と類を等しくせる「革命の娘」なる一種の團体あり然れども其性質に於ては頗る趣を異にし革命の娘は所謂其名の如く、社會の改善乃ち婦風を標準とす、是を以て此團体は永久的の性質を帶ぶ、愛國婦人會は之に異りて只一時的の團体たる面影あり、若し夫れ戰時に於て婦女子の總てが能く率公の道を盡すは素より美事なれども、赤十字社ありて機關頗る整備せるを以て他に何等の機關を要せざる也、然るに特に愛國婦人會なる一團体が赤十字社以外に現出したる所以は畢竟奥村某の熱心なる主唱に虚栄心強き我國婦女子が何等勢せずして率公の美名を贏ちえんとする爲に附和したるが爲ならんか愛國婦人會は斯の如くにして世に生れたり、戰時に於てこそ多少の働をなし得たるも平時に在りては同會活動の目的なき爲に徒に其會名を維持するに止るのみ、戰爭中は社會の總てが情想の高潮せる爲に其熱の爲に活動もなし且つ其間は同會の生命も持續したれども既に情想退潮し目的去るに於ては勢ひ會規の弛廢し來るは當然也、役員間には互に排擠を事とし或は婚德を汚す者さへあるに至りも也、聞て韓國に於ける同會本部及各地の狀態を見るに東京に劣らざる醜態、亦役員中には婚德を疑はるものあるを聞く、果して事實なりや否は知らざるも余輩は必ずしも全然浮説とのみ信ずる能はず既に生命を失ひたる同會は今は一の變生社交團體と化し去りて、其役員は徒に服裝の美を競ひ容色の優劣を比較するの虚栄團に堕落せり、余輩は素より此一個婦人團体の盛衰が國家社會の休戚に關すべしとも思はず、然れども全國に亘りて多數の會員を有するのみならず、余輩の移住地たる當半島に迄多くの會員を有する同會が昨今の如く堕落するに至りては、如何なる影響を社會人心に波及すべきかを思へば聊か寒心に堪ざるものあり、是れ余輩が一言を禁ずる能はざる所以也

東京電報

▲清國政府の頑迷

清政府は我政府に對し安奉線改築は同意なるも警察權及守備兵問題に就ては讓歩する能はざる旨回答したり（十一日着）

▲北京政府の狼狽

清國政府は我强固なる回答に一層狼狽し梁敦彦と錫總督を罷免して彌縫せんとす（同上）

▲日糖被告の上告

日糖事件判決に對し臼井哲夫を除き他の被告は皆上告を爲したり（同上）

▲韓太子の紋別着

韓太子殿下は本日宮闕を發して紋別に着せられ飯田新三郎邸に御投宿あり（十一日着）

▲清國政府の同意

清國政府は遼に安奉線改築工事に同意を表し警察權問題及守備兵問題に付ては別に交渉せんことを求め來る我最初の意見に一致せるを以て我政府は昨日異議なる旨回答したり紛擾を極めたる本問題も是にて一段落を告ぐ可し（十一日午後着）

▲本月上旬輸出入

本月上旬に於ける輸出は八百十九萬圓にして輸入は七百三十七萬九千圓也輸出一割輸入二割減じたり（十一日發）

雜報

●借欵條件の變更

吾政府が韓國政府に對し無利子を以て一千九百六十八萬貳千六百二十三圓貸與の契約を爲したるが右は日韓新協約の實施に伴ひ施政の改善に必要なる經費に支辨するものにして其の使途は傭聘日本人官吏の俸給、手當旅費等に供せん爲めなり而して該總額の内七百二万九千〇八十三圓は既に交付を了し四十二年度は三百六十五萬三千五百四十圓受領の筈なるも本年度は各種事業多端の爲め四十三年度分より百万圓を繰上げ殘額を四十三年度に二百萬圓四十四四十五年度に各三百万宛受授する事に決定したり然るに今回司法權委任の結果將來韓國法部及裁判所の爲めに要すべき經費は當然殘金の借欵額より控除すべき筈なるも韓國の現狀は當初の計畫以外に於て尚ほ多大の經費を要すべき事業尠からず即ち新統監の政策たる全國の道路築造の如きは最も急要なる事業なれば這般司法權委任によりて減額を見るべき金額は是を如上の沿道工事費に充てんと欲し曾て韓統監の同意を得て荒井度支部次官大藤省へ出頭、借欵條件の變更方を交渉中なりといふ

●蠶業奬勵と成績

平安南道は往時最も蠶業發達し今尚ほ桑樹の巨木到處に殘留せる樣なるも近時斯業全く萎靡せるを以て觀察道にては蠶業奬勵の第一着として農商工部より座繰機の配付を受け加藤まき子を教師として平壤德川、介川の諸郡を巡回傳習せしめたるに傳習生等は熱心習得し任來の機に比し効力の大なるを傳へ其結果蠶種撰擇養蚕改良橫付等の奬勵ともなりたるを以て本年より相川、江東、江西等の各郡に引續き巡回傳習せしむる筈なりと

●安奉線工事認可

六日午後十一時鐵道院より南滿洲鐵道株式會社宛發したる安奉線工事施行の認可書下の如し

南滿洲鐵道株式會社明治四十二年二月二十二日附申請中陳相屯土工事施行の件認可す

明治四十二年八月六日　内閣總理大臣侯爵　桂　太郎

而して右認可書に添ゆるに鐵道院總裁より滿鐵總裁に宛てたる工事施行心得書を以てしたりと

●土地調査と特別會計

今般設置さるべき韓國土地整理局に關する大体の方針は疾くに決定したるも施行の細則に至りては尚ほ大に考究を要すべきもの多々あるべきを以て先般來臨時財產整理局にて局員を各道に派遣し土地に關する從來の制度及舊慣の調査を命じたりしが既に完了して何れも去月下旬歸局し目下是等出張員の齎らし來れる報告に基き研究の歩を進めつゝあり而して制度の大要を主もに臺灣土地調査局の例を則るに至るべきも唯だ會計のみは特別會計と爲し事業の成蹟を明かにすべく決定したり今此特別會計による收入支出豫算は左の如し

	圓
借欵收入	一〇、〇〇〇、〇〇〇
土地登記料	四、一三二、五〇〇
總計	四、一三三、五〇〇
支出豫算	
俸給及諸給	四、四九四、一〇五
廳費	一、八三六、〇三五
旅費	四、一五一、六六一
雜給及雜費	三、一四〇、五九一
舍宅料	三四二、五一〇
新營及修繕	一、六四、八〇五
總計	一四、一二九、七〇七

●法典の編纂方針變更

韓國の法典は梅博士指導の下に着々進行中なるが從來は内外國人に適用すべき方針を以て起草し居りたりと雖今次協約の結果として司法權の行使は凡て日本政府に委托したるを以て適用すべき法律は日本人又は外國人には日本法を適用することゝなりたるに付き是迄起草し居りたる法典は全然其方針を變更して韓國人にのみ適用すべき目的を以て編纂することに決定したりと云ふ

●清津免税問題立消乎

韓國政府が五月二十四日法律第十九號を以て間島及琿春地方へ輸出入する清津港經由の貨物に對し課税を免除する旨發布し該法律に關する施行細則は度支部大臣之を定るの附則ありしが爾來月を閲みする事三此間永窟湖税總長の犧牲となりしの外其施行期の如き者として殆んど立消の姿になりたりと聞く、果して事實なりや否は知らざるも余輩は必ずしも全然浮説とのみ信ずる能はず既に生命を失ひたる同會は今は一の變生社交團體と化し去りて、其役員は徒に服裝の美を競ひ容色の優劣を比較するの虚栄團に堕落せり、余輩は素より此一個婦人團体の盛衰が國家社會の休戚に關すべしとも思はず、然れども全國に亘りて多數の會員を有するのみならず、余輩の移住地たる當半島に迄多くの會員を有する同會が昨今の如く堕落するに至りては、如何なる影響を社會人心に波及すべきかを思へば聊か寒心に堪ざるものあり、是れ余輩が一言を禁ずる能はざる所以也

●韓國の司法制度方針

不日吾が政府の手に實施さるべき韓國司法制度は二級審三級審其孰れを採用すべきや付當局者の語る處によれば從來既に三級審制度を取れる裁判所を改め二級審とするは韓國民の權利を輕視するの嫌あるのみならず殆んど制度の退歩に似て條理に背戻するものなり且つ各文明國の例に徴するも裁判制度は可成是を愼重ならしむるの必要あれば吾政府の方針も無論三級審制度を採るに決定せりと

●新編入の地方費超過

國税より新たに地方費に編入さるべき典當舗税及び庖肆税の隆照二年度徴收額は典當舗税に於て調定額五百貳十五圓五十九錢收入額五百十四圓五十九錢にして豫算額に比し收入額五百八十五圓の不足、庖肆税に於て調定額二萬六千七百五十圓七十八錢收入額二萬三千四百五十圓二十二錢にして豫算額に比し收入額二百九十七圓の超過なりと

●典當舗税規則の審査

從來國税たりし典當舗税は來る九月一日より實施の地方費に編入さるべきに就き典當舗規則より改定すべき必要あるを以て今一日法令審査會を開き同規則に改正を加へ閣議に提出の筈なり尚同會に於て寄附金募集に關す警視廳管内は疑に發布したる同規則以外に細則を設くる件をも審査したりと

●度量衡法の施行區域

農商工部に於て起草中なりし度量衡法は近日發布の筈なるが全國に向て一時に之を施行する時は一時に多くの度量衡を普及し得ざるに依り先づ施行地を定め都府より地方及ばし漸次全國に施行する豫定なりと

●生麻の日本輸出計畫

農商工部にては過般來生麻の產地たる忠南、全羅、咸南の韓山、慶北の安東、平南の德川、全南の韓山、慶北の安東、咸興、咸北の鏡城より生麻の見本を取寄せ試驗したる處二三種の見るべきものありたるに依り目下日本へ向け輸出の計畫中なるが尚同部よりは森主事を前記韓山へ視察の爲め出張せしめたりと

●地方費と交通の設備

來る九月一日より實施さるべき地方費を以て支辨すべき事業は會禰統監の方針に基き主として交通の設備は完全にする方針也と

●三税の徴收と地方民

酒、烟草、家屋三税は發布當初不服の聲各所に起りしも其後實施期となり逐次徴收なすに至るや豫期以上の好成績を示すに至れりとは當局者の談

●曹洞宗の布教所

我居留民は曹洞宗の系統に屬するもの過半數ともふべき由なるが何故か是迄本山には布教所を設けず曹洞宗の布教所を設けらるゝものなり今回本山より駐韓布教師破都峯仙氏を特派せしを以て宮町二、一の二を布教所に宛て開教に從事することゝなりしと

●韓國財界の狀況

七月中の財界は大体に於て先月とさしたる變動なく一般を通じて財界は沈衰の域を脱せず現狀持續の狀態なるが北韓（東北岸）地方は近年稀なる鰊の豊漁にて相場も相當高價にて日本に輸出せられつゝあり且清津港が貿易上の自由港となりたる爲め同港を通じて北韓一帶、間島、露領へ集散する貨物增加し就中間島方面の商界に活氣を帶び加之時局の進捗と羅南、會寧の兵營工事の爲め巨額の放資ありて餘澤一般に潤ひて今後も益々發展の見込にて本年秋獲して好良ならんか此方面は層一層善良の域に進むべし

●人力車問題

數日前日韓瓦斯の岡崎氏が南大門附近に於て其乘れる人力車より投出され重傷を被られて以來今更の如く街路取締問題や人力車問題やが一部士人の間に八ケ間敷相成申候、人力車に危險の伴ふは今が始てには無之曾てはフエヤバンクス夫人も岡崎氏と等しき運命に掛りたること有之候否フエヤ夫人のみならず黑田太久馬氏夫人花月の奴斯申す記者なども同運命に掛りたること有之候、併し之多くの場合に於て斯る出來事が一人挽の車にありて後押附には殆んど無きが如くに候、京城日報の大岡君やソウルプレスの山縣君が各自の紙上に於て人力車問題を物々敷論せられて果ては南大門驛歡送迎人車通過中は公衆の往來止めを爲すべしとか自家の收入增大して生命保險を附し得らるるに至る迄は乘車せざることに決めたりとか申候得共其所は人力車問題を餘りに大袈裟に扱はるゝものにて殆んど愚にも附かぬ事と申すの外なし一体が京城人程無意義なる歡送の虚禮を多く行ふものは他に無之候、殊に此虚禮は役人連中に因つて多く行はれ申候、思ふに大岡君や山縣君に因つて今次論ぜられたる人力車問題の解決には何を差置いても歡送の虚禮を廢すべきものと被存候、左すれば珠數繋ぎの人力が長蛇の如く本町及び南大門通りを馳りて通行人に迷惑を掛ることも無くなるべしと被存候、大岡山縣の兩君以て如何となす。

●東拓漁業の着手難

東拓會社が漁業上大計畫を立て全羅の沿岸各港及元山附近に於いて大漁區の出願をなさんとのことは既に報じたる處なるが全羅の沿岸は行通不便にして鹽詰又は乾物に製造するものゝ外は輸出困難なるを以つて漁業着手は到底近き將來に於いて實行すべきものにあらずと

●小學教員夏期講習會

京城教育會主催となり在韓小學教員の智識補充の爲め八月七日より二十日迄京城第二小學校内にて講習會を開き東京高等師範阿部助教授、柳田農商工部技師、田村同技手、向坂水原模範場技師、上村韓總理大臣秘書官、岩津訓導等に講義を囑托したり

●漁業者の移住增加す

從來韓海漁業に從事する邦人は漁期の終を待ち本國に引揚ぐる習慣にして漁業發達より見るも各自の利益の點より見るも不利益少からざるを以て水產組合等にては移住漁業者奬勵の結果比年增加し目下其戸數五百四十一の多きに達したりといふ

●曳船會社設立の計畫

仁川港回漕業者の有力者木村、鹿田等の有力者は漢江の水運を利用し仁川麻浦間に數艘の汽船を以て貨物運送を主とする曳船會社を設立するの計畫あり麻浦よりは電車に連絡して貨物の輸送をなす計畫なりと

●東拓未墾地開墾出願

東拓會社に於て漢江の上流驪州の未墾地約三十丁歩を開墾すべく目下農商工部へ出願中なりと言ふ

●七月中の爲替の受拂額

京城郵便局七月中の爲替受拂額は振込額十九萬七千八百九十二圓振出額六萬八千五百四十四圓なりといふ

●水原の森林は保安林

水原の八達山及城壁内外に在る鬱蒼たる松林一百二町五歩は森林法第五條に依り保安林に編入されたり

●明石軍參謀長の出發

軍參謀長明石少將は竹本少佐を隨へ鎮海灣要塞地帶視察の爲め十一日午後十時四十分出發せり因に兩三日中に歸任すべし

●七月中の郵便貯金額

京城郵便局去月中の郵便貯金高は一萬〇六百八十四圓同拂額は一万〇六百七十三圓也

●南驛間回數乘車

九月一日より南大門驛梁津間二等回數乘車券を兩驛に於て發賣する筈にて其賃金は一ケ月二圓四十錢なり

●間島視察員歸京

客月二十八日北間島方面の視察として旅行したる南部長洞（水閣橋上）米人醫師は去る八日歸京したり

●伊船將校の入京

仁川碇泊中伊太利軍艦將校ブルロウ外一人は七日西大門着アスターホテルに投宿佛教會伊領事館を訪問す

●最上主計正出張

軍司令部最上主計正同一等主計松本源吉氏は中隊會計檢査院部長の立會の爲め平壤及鎮南浦へ十一日出發

▲日清間の紛紜

日清の紛紜は露都にて懸念せられ露國は平和的解決

▲安奉線と露國

日清の紛紜は露都にて懸念せられ露國は平和的解決

▲日清間と大統領

米國大統領

▲小山技師の免官

統監府技師小山

東京電報

▲清國半島の着手難

清國政府は我强固なる回答に一層狼狽し梁敦彦と錫總督を罷免して彌縫せんとす（同上）

▲日糖被告の上告

日糖事件判決に對し臼井哲夫を除き他の被告は皆上告を爲したり（同上）

▲韓太子の紋別着

韓太子殿下は本日宮闕を發して紋別に着せられ飯田新三郎邸に御投宿あり（十一日着）

▲清國政府の同意

清國政府は遼に安奉線改築工事に同意を表し警察權問題及守備兵問題に付ては別に交渉せんことを求め來る我最初の意見に一致せるを以て我政府は昨日異議なる旨回答したり紛擾を極めたる本問題も是にて一段落を告ぐ可し（十一日午後着）

▲本月上旬輸出入

本月上旬に於ける輸出は八百十九萬圓にして輸入は七百三十七萬九千圓也輸出一割輸入二割減じたり（十一日發）

雜報

●借欵條件の變更

吾政府が韓國政府に對し無利子を以て一千九百六十八萬貳千六百二十三圓貸與の契約を爲したるが右は日韓新協約の實施に伴ひ施政の改善に必要なる經費に支辨するものにして其の使途は傭聘日本人官吏の俸給、手當旅費等に供せん爲めなり而して該總額の内七百二万九千〇八十三圓は既に交付を了し四十二年度は三百六十五萬三千五百四十圓受領の筈なるも本年度は各種事業多端の爲め四十三年度分より百万圓を繰上げ殘額を四十三年度に二百萬圓四十四四十五年度に各三百万宛受授する事に決定したり然るに今回司法權委任の結果將來韓國法部及裁判所の爲めに要すべき經費は當然殘金の借欵額より控除すべき筈なるも韓國の現狀は當初の計畫以外に於て尚ほ多大の經費を要すべき事業尠からず即ち新統監の政策たる全國の道路築造の如きは最も急要なる事業なれば這般司法權委任によりて減額を見るべき金額は是を如上の沿道工事費に充てんと欲し曾て韓統監の同意を得て荒井度支部次官大藤省へ出頭、借欵條件の變更方を交渉中なりといふ

●蠶業奬勵と成績

平安南道は往時最も蠶業發達し今尚ほ桑樹の巨木到處に殘留せる樣なるも近時斯業全く萎靡せるを以て觀察道にては蠶業奬勵の第一着として農商工部より座繰機の配付を受け加藤まき子を教師として平壤德川、介川の諸郡を巡回傳習せしめたるに傳習生等は熱心習得し任來の機に比し効力の大なるを傳へ其結果蠶種撰擇養蚕改良橫付等の奬勵ともなりたるを以て本年より相川、江東、江西等の各郡に引續き巡回傳習せしむる筈なりと

●安奉線工事認可

六日午後十一時鐵道院より南滿洲鐵道株式會社宛發したる安奉線工事施行の認可書下の如し

南滿洲鐵道株式會社明治四十二年二月二十二日附申請中陳相屯土工事施行の件認可す

明治四十二年八月六日　内閣總理大臣侯爵　桂　太郎

而して右認可書に添ゆるに鐵道院總裁より滿鐵總裁に宛てたる工事施行心得書を以てしたりと

●土地調査と特別會計

今般設置さるべき韓國土地整理局に關する大体の方針は疾くに決定したるも施行の細則に至りては尚ほ大に考究を要すべきもの多々あるべきを以て先般來臨時財產整理局にて局員を各道に派遣し土地に關する從來の制度及舊慣の調査を命じたりしが既に完了して何れも去月下旬歸局し目下是等出張員の齎らし來れる報告に基き研究の歩を進めつゝあり而して制度の大要を主もに臺灣土地調査局の例を則るに至るべきも唯だ會計のみは特別會計と爲し事業の成蹟を明かにすべく決定したり今此特別會計による收入支出豫算は左の如し

	圓
借欵收入	一〇、〇〇〇、〇〇〇
土地登記料	四、一三二、五〇〇
總計	四、一三三、五〇〇
支出豫算	
俸給及諸給	四、四九四、一〇五
廳費	一、八三六、〇三五
旅費	四、一五一、六六一
雜給及雜費	三、一四〇、五九一
舍宅料	三四二、五一〇
新營及修繕	一、六四、八〇五
總計	一四、一二九、七〇七

●法典の編纂方針變更

韓國の法典は梅博士指導の下に着々進行中なるが從來は内外國人に適用すべき方針を以て起草し居りたりと雖今次協約の結果として司法權の行使は凡て日本政府に委托したるを以て適用すべき法律は日本人又は外國人には日本法を適用することゝなりたるに付き是迄起草し居りたる法典は全然其方針を變更して韓國人にのみ適用すべき目的を以て編纂することに決定したりと云ふ

●清津免税問題立消乎

韓國政府が五月二十四日法律第十九號を以て間島及琿春地方へ輸出入する清津港經由の貨物に對し課税を免除する旨發布し該法律に關する施行細則は度支部大臣之を定るの附則ありしが爾來月を閲みする事三此間永窟湖税總長の犧牲となりしの外其施行期の如き者として殆んど立消の姿になりたりと聞く、果して事實なりや否は知らざるも余輩は必ずしも全然浮説とのみ信ずる能はず既に生命を失ひたる同會は今は一の變生社交團體と化し去りて、其役員は徒に服裝の美を競ひ容色の優劣を比較するの虚栄團に堕落せり、余輩は素より此一個婦人團体の盛衰が國家社會の休戚に關すべしとも思はず、然れども全國に亘りて多數の會員を有するのみならず、余輩の移住地たる當半島に迄多くの會員を有する同會が昨今の如く堕落するに至りては、如何なる影響を社會人心に波及すべきかを思へば聊か寒心に堪ざるものあり、是れ余輩が一言を禁ずる能はざる所以也

愛國婦人會はもと之れ宗教團体にあらず、社交團体若しくは政治團体にもあらず、奥村某の會て主唱せる所を記憶する余輩の解釋にては愛國を標榜せる戰時に於ける一種の慈善團体なりとす、米國には此團体と類を等しくせる「革命の娘」なる一種の團体あり然れども其性質に於ては頗る趣を異にし革命の娘は所謂其名の如く、社會の改善乃ち婦風を標準とす、是を以て此團体は永久的の性質を帶ぶ、愛國婦人會は之に異りて只一時的の團体たる面影あり、若し夫れ戰時に於て婦女子の總てが能く率公の道を盡すは素より美事なれども、赤十字社ありて機關頗る整備せるを以て他に何等の機關を要せざる也、然るに特に愛國婦人會なる一團体が赤十字社以外に現出したる所以は畢竟奥村某の熱心なる主唱に虚栄心強き我國婦女子が何等勢せずして率公の美名を贏ちえんとする爲に附和したるが爲ならんか愛國婦人會は斯の如くにして世に生れたり、戰時に於てこそ多少の働をなし得たるも平時に在りては同會活動の目的なき爲に徒に其會名を維持するに止るのみ、戰爭中は社會の總てが情想の高潮せる爲に其熱の爲に活動もなし且つ其間は同會の生命も持續したれども既に情想退潮し目的去るに於ては勢ひ會規の弛廢し來るは當然也、役員間には互に排擠を事とし或は婚德を汚す者さへあるに至りも也、聞て韓國に於ける同會本部及各地の狀態を見るに東京に劣らざる醜態、亦役員中には婚德を疑はるものあるを聞く、果して事實なりや否は知らざるも余輩は必ずしも全然浮説とのみ信ずる能はず既に生命を失ひたる同會は今は一の變生社交團體と化し去りて、其役員は徒に服裝の美を競ひ容色の優劣を比較するの虚栄團に堕落せり、余輩は素より此一個婦人團体の盛衰が國家社會の休戚に關すべしとも思はず、然れども全國に亘りて多數の會員を有するのみならず、余輩の移住地たる當半島に迄多くの會員を有する同會が昨今の如く堕落するに至りては、如何なる影響を社會人心に波及すべきかを思へば聊か寒心に堪ざるものあり、是れ余輩が一言を禁ずる能はざる所以也

●人力車問題

數日前日韓瓦斯の岡崎氏が南大門附近に於て其乘れる人力車より投出され重傷を被られて以來今更の如く街路取締問題や人力車問題やが一部士人の間に八ケ間敷相成申候、人力車に危險の伴ふは今が始てには無之曾てはフエヤバンクス夫人も岡崎氏と等しき運命に掛りたること有之候否フエヤ夫人のみならず黑田太久馬氏夫人花月の奴斯申す記者なども同運命に掛りたること有之候、併し之多くの場合に於て斯る出來事が一人挽の車にありて後押附には殆んど無きが如くに候、京城日報の大岡君やソウルプレスの山縣君が各自の紙上に於て人力車問題を物々敷論せられて果ては南大門驛歡送迎人車通過中は公衆の往來止めを爲すべしとか自家の收入增大して生命保險を附し得らるるに至る迄は乘車せざることに決めたりとか申候得共其所は人力車問題を餘りに大袈裟に扱はるゝものにて殆んど愚にも附かぬ事と申すの外なし一体が京城人程無意義なる歡送の虚禮を多く行ふものは他に無之候、殊に此虚禮は役人連中に因つて多く行はれ申候、思ふに大岡君や山縣君に因つて今次論ぜられたる人力車問題の解決には何を差置いても歡送の虚禮を廢すべきものと被存候、左すれば珠數繋ぎの人力が長蛇の如く本町及び南大門通りを馳りて通行人に迷惑を掛ることも無くなるべしと被存候、大岡山縣の兩君以て如何となす。

●韓國財界の狀況

七月中の財界は大体に於て先月とさしたる變動なく一般を通じて財界は沈衰の域を脱せず現狀持續の狀態なるが北韓（東北岸）地方は近年稀なる鰊の豊漁にて相場も相當高價にて日本に輸出せられつゝあり且清津港が貿易上の自由港となりたる爲め同港を通じて北韓一帶、間島、露領へ集散する貨物增加し就中間島方面の商界に活氣を帶び加之時局の進捗と羅南、會寧の兵營工事の爲め巨額の放資ありて餘澤一般に潤ひて今後も益々發展の見込にて本年秋獲して好良ならんか此方面は層一層善良の域に進むべし

▲臨勇線の總攻撃　蒼海總督府にては十日より新竹臨勇線の總攻撃を開始し

▲日宗生命の解散　日宗生命は前韓國全道に於ける警備電話の新設

●相談の相談

（何んでも御相談に應じ申）

◎問　小生は幼年より大に演劇好きにて俳優たらんと期せしも商家に生れし身分志を遂せず乍不愉快商業界にありしも芝居の念一日も思ひ切れず故に商賣にも熱心になれず日夜苦悶致し居る者なるが當地にて劇界之身となる方法無之哉御芳志に成りたいと云ふのと同じ樣に聞へるが、夫れは兎に角として俳優に成ると云ふことは御兩親も御承諾なさるのか、何れにしても御面倒致し候はんかとも存じ候へども未だ斷然たる決心も相付き不申候、御相談に應じ下されば幸榮に存じ候（料理番）

◎答　君身体の強健に加ふるに齊力の倫を拔くありと云ひ更に加ふるに文字の素養あり、然るに何を苦しんで一料理店の出前持ちにあり、往け好丈夫、大成功を所期して而して達せず、屍を山野に曝すも又男兒の事ならずとせんや、往け（係）

●韓國上流の風儀（四）

息子某は知人の通知にして父大官の破倫を始めて知る一時は夢にはあらずやと計り思はれ茫然たること久しかりしとは無理ならぬ事共也、父が自分の望まざる遊學と無理に奬めしことも始めて解し得たり、扨も餘りと云へば餘り也現在實子の嫁に慾ひすることは、之を知りては學業は素より手につかず、勿惚行李を調へて夢路を辿る心地して韓京に歸り來りぬ、而も直に自宅には行かず友人の許に立寄りて事の實否を確めたに、矢張り知人の通知に違はず實際父は自分の妻を妾の如くなして人知れぬ所に囲ひ置くとの事なれば、悲憤の涙禁ずる能はず如何にして父を戒め如何にして妻を所置すべきかと煩悶するも詮なし、今は唯父に逢ふて諫言し改むればよし左もなくば一刀兩斷の所置を取る外あらずと決心し、嬶に自宅に歸りて父に歸國の旨を告げ知らしぬ、父なる大官は不意に息子の歸り來ることは夢にも思はざりしかば深く吃驚したるも、茲何とか胡魔化さんと其驚きを顏に見せず慇懃なる言葉も頻りに慰むれど、息子は尙更疑ひを增して顏色既に殺氣を帶びぢ〳〵と父に向て膝を押寄せ眉尻釣上げて破倫不義を責めんとす、茲に於て一場の大波瀾は起り來る、息子は息をはづませて破倫の顚末を擧げて痛く父を詰責したり、然るに父なる大官は冷かに息子の顏を眺めて靜かに諭すが如く、御身は何者にかそゝのかされたる也父として斯ることの出來べき筈なし、成程一時は斯る噂も世に立ちたるも之は何者か我を猜む輩の揑造ならむ、されど人の口には戸は閉てられず、言ふものは言ふに任する外なし、然るに御身迄が父を疑ふとは何事ぞと、與らしく說き付けられたる息子は何となく狐につまゝれたる如き心地して、然らば之は唯世間の人の取沙汰なるか、左もあらひと一時は胸を撫で卸したるも妻に逢ふて此事を聞かざれば未だ全く安心し難しと、直に此座を起て妻の室に赴かんとすれば父は之を呼留て御身の妻はさる頃より身に惹ありて醫師の奬めによりて某所に開居せしめ居る、明日は必ず呼寄せて御身に會はすべし、御身の歸りし事を聞かば嘸や喜ばむと、之を聞ける息子は疑心忽ち心頭に上りて偖は世人の噂は眞なるへきか、假令病氣なりとも自宅にて養生出來ざる筈なし、あな悲ひべし父は愈々不倫の行ひをなし居るに相違なし、斯くと聞かば尙更に其居所を尋ねざる可らずと決心し、亦も父の傍に押寄りて妻の居所を尋ね、現在さる病氣の爲に開居せしならば夫たる自分の尋ね行くに何の不都合かあらむと詰れば父なる大官はグット其答に押詰りぬ。

●團平船中の大立廻り

▲兄弟分の盃から▼

仁川港碇泊中の團平船乘組員倉本千代松（十三）と云ふは一昨日午後五時頃同業者七八名を船中に招き酒宴を開き最初の程は杯取り交はし柔なしく飲み居たるも酔の廻るに連れ追々亂暴となり千代松が來客の沖新松なるものに兄弟分の杯を取交はさんと云ひたる所初對面のものに其歷ごとに來ぬと云ひたるが原因となり果ては二人が組み打ちを始め遂には狹い船中にて總員の立廻りとなり危險云ふばかりなかりしかば千代松の女房も何は警察に鎭撫方願ひ出て警官三名は出張したる所鎭まらず反つて器具を手當り次第破毀する等亂暴なる擧動ありしかば張本人新井善一郎外二名を引致し覺醒を待つて說諭を加ひ器具破損料として各自金一圓結果第一樓の九重、高島屋の千代吉、南山五十錢を出さしむることとなし漸やく事濟樓の衣重の三拍子は入院せりと

●韓人同志の組打

仁川濱町二丁目道路にて昨日午前一時頃二人の韓人噴嚔を始め其の一人は顏面を負傷し居りと訴ふるものありたれば警官出張取調べたるが右の一名は黃海道長淵郡居住の金乃石（三十）と云ふものにて今一人の安東縣居住の安成（三十）と云ふが金の名を以て煙草二個を或る店より買ひ取りたるを知りて毆打を加ひ安の鼻より出血したること判明したれば双方引致嚴重なる說諭を加ひて引き取らしむ

●他人の砦を横領

京城南大門通り紀の國屋止宿日韓興信合事務員中島菊一（三三）は去る七月十五日仁川仲町一丁目上妻壽三郎方へ滯在中京城に保險會社募集員の試驗ある由を聞き受驗の爲め出京すべきに付袴を貸し呉れと云て之を借り京城に來りしも試驗不合格の結果仁川に歸りし上妻方に一大電燈を設けては何うだ（當局者）▲駄目だ、明るくなれば又他の暗い方面へ發展するから、僕思ふに花、彼所に廿軒位運がつた壺のない共同便所を拵へた方が得策だ（係）▲終局二人乘りの人力車の格で二人入りの便所ですな（小僧）▲西大門驛の○○さん日の出亭のれ初はモウ歸らんよ、れ前さんよりは他に好いのが深山あつたんだものに、矢張り知人の通知に違はず實際父は自分の妻を妾の如くなして人知れぬ所に囲ひ置くとの事なれば、悲憤の涙禁ずる能はず如何にして父を戒め如何にして妻を所置すべきかと煩悶するも詮なし、今は唯父に逢ふて諫言し改むればよし左もなくば一刀兩斷の所置を取る外あらずと決心し、嬶に自宅に歸りて父に歸國の旨を告げ知らしぬ、父なる大官は不意に息子の歸り來ることは夢にも思はざりしかば深く吃驚したるも、茲何とか胡魔化さんと其驚きを顏に見せず慇懃なる言葉も頻りに慰むれど、息子は尙更疑ひを增して顏色既に殺氣を帶びぢ〳〵と父に向て膝を押寄せ眉尻釣上げて破倫不義を責めんとす、茲に於て一場の大波瀾は起り來る、息子は息をはづませて破倫の顚末を擧げて痛く父を詰責したり、然るに父なる大官は冷かに息子の顏を眺めて靜かに諭すが如く、御身は何者にかそゝのかされたる也父として斯ることの出來べき筈なし、成程一時は斯る噂も世に立ちたるも之は何者か我を猜む輩の揑造ならむ、されど人の口には戸は閉てられず、言ふものは言ふに任する外なし、然るに御身迄が父を疑ふとは何事ぞと、與らしく說き付けられたる息子は何となく狐につまゝれたる如き心地して、然らば之は唯世間の人の取沙汰なるか、左もあらひと一時は胸を撫で卸したるも妻に逢ふて此事を聞かざれば未だ全く安心し難しと、直に此座を起て妻の室に赴かんとすれば父は之を呼留て御身の妻はさる頃より身に惹ありて醫師の奬めによりて某所に開居せしめ居る、明日は必ず呼寄せて御身に會はすべし、御身の歸りし事を聞かば嘸や喜ばむと、之を聞ける息子は疑心忽ち心頭に上りて偖は世人の噂は眞なるへきか、假令病氣なりとも自宅にて養生出來ざる筈なし、あな悲ひべし父は愈々不倫の行ひをなし居るに相違なし、斯くと聞かば尙更に其居所を尋ねざる可らずと決心し、亦も父の傍に押寄りて妻の居所を尋ね、現在さる病氣の爲に開居せしならば夫たる自分の尋ね行くに何の不都合かあらむと詰れば父なる大官はグット其答に押詰りぬ。

▲ナゼ撒水を爲さゝる乎

士質粗鬆にして空氣の乾燥甚だしき夏季の京城に大規模なる撒水業者なきは確かに大なる缺點なり今日此の頃の如きは眞に强風砂塵を捲いて漠々とて天日爲めに晦き感がある、八つあんの花嫁ならぬ吾々をしても猶且つ「今朝は盛風劇しうして小砂眼入す」との歎聲を發せしむる、實以て『スタンプヒョー』の至りである、此の時に當りて只彼の香公を驅つて各戸に撒水を强ひしむるが如きは被驅使者も驅使者たる査公も堪つたものでない、費用は衛生費と同時に一般に少額を分擔せしめて之れを支辨するとし現發業者に受負はしむるなり、市自身直接經營とするかを然るべう存じ奉る。

●警備電話の新設

從前韓國全道に於ける警備電話を架設することなりたるが之に一大電燈を設けては何うだ（當局者）▲駄目だ、明るくなれば又他の暗い方面へ發展するから、僕思ふに花、彼所に廿軒位運がつた壺のない共同便所を拵へた方が得策だ（係）▲終局二人乘りの人力車の格で二人入りの便所ですな（小僧）▲西大門驛の○○さん日の出亭のれ初はモウ歸らんよ、れ前さんよりは他に好いのが深山あつたんだものに、矢張り知人の通知に違はず實際父は自分の妻を妾の如くなして人知れぬ所に囲ひ置くとの事なれば、悲憤の涙禁ずる能はず如何にして父を戒め如何にして妻を所置すべきかと煩悶するも詮なし、今は唯父に逢ふて諫言し改むればよし左もなくば一刀兩斷の所置を取る外あらずと決心し、嬶に自宅に歸りて父に歸國の旨を告げ知らしぬ、父なる大官は不意に息子の歸り來ることは夢にも思はざりしかば深く吃驚したるも、茲何とか胡魔化さんと其驚きを顏に見せず慇懃なる言葉も頻りに慰むれど、息子は尙更疑ひを增して顏色既に殺氣を帶びぢ〳〵と父に向て膝を押寄せ眉尻釣上げて破倫不義を責めんとす、茲に於て一場の大波瀾は起り來る、息子は息をはづませて破倫の顚末を擧げて痛く父を詰責したり、然るに父なる大官は冷かに息子の顏を眺めて靜かに諭すが如く、御身は何者にかそゝのかされたる也父として斯ることの出來べき筈なし、成程一時は斯る噂も世に立ちたるも之は何者か我を猜む輩の揑造ならむ、されど人の口には戸は閉てられず、言ふものは言ふに任する外なし、然るに御身迄が父を疑ふとは何事ぞと、與らしく說き付けられたる息子は何となく狐につまゝれたる如き心地して、然らば之は唯世間の人の取沙汰なるか、左もあらひと一時は胸を撫で卸したるも妻に逢ふて此事を聞かざれば未だ全く安心し難しと、直に此座を起て妻の室に赴かんとすれば父は之を呼留て御身の妻はさる頃より身に惹ありて醫師の奬めによりて某所に開居せしめ居る、明日は必ず呼寄せて御身に會はすべし、御身の歸りし事を聞かば嘸や喜ばむと、之を聞ける息子は疑心忽ち心頭に上りて偖は世人の噂は眞なるへきか、假令病氣なりとも自宅にて養生出來ざる筈なし、あな悲ひべし父は愈々不倫の行ひをなし居るに相違なし、斯くと聞かば尙更に其居所を尋ねざる可らずと決心し、亦も父の傍に押寄りて妻の居所を尋ね、現在さる病氣の爲に開居せしならば夫たる自分の尋ね行くに何の不都合かあらむと詰れば父なる大官はグット其答に押詰りぬ。

●暴徒巨魁入京

京城鎭は根據として暴威を逞ふしたる暴徒の巨魁金洲敏は過日京大いに對策せんとしたる所憲兵隊並に警察隊の監視は嚴重なりしため一度踪跡を晦ましたるが一昨日亦々入京北署北門附近に潛伏し居りと

▲皮製の墓口を拾ふ　本町一丁目裏通二十一番戶韓國實業株式會社京城支店取締役岡田清一は本月十日午前九時十分頃本町二丁目街路に於て現金一圓二十五錢五厘在中の鰐皮製墓口一個外に黑水牛の認印一個と共に拾得したる旨其筋へ屆出づ

●裸女告發せらる　仁川寺町二丁目料理店松山樓鎌田みね方の酌婦竹下つぎの云ふは一昨日午後七時過ぎ表より見易き場所にて赤裸々となりて粉粧し居たるを巡廻中の警官に認められ告發せらるる

▲長谷川町の末廣亭では納涼喜を家根に新設した紅提灯を灯し列ねて非常に景氣がよいのでツと迂濶々々と登る氣になつて樓上ならねば屋上の客となつたが近くは南山、文珠、普賢の諸山が立騰る水蒸氣の月に照らされて水色紗の如くなる裡に立てるを見るべく、

▲九日の夜米倉町の岡の家へ登樓した民役所の○田とか云ふ人は散々飲食したる場句仲居を付けて某所に至りしに曰く「夜が明ければ代金は支拂ぬ」と、流石に役人だ、役所は夜が明けぬと執務は出來ぬ、飲食代は夜分でも受け付けます、其所は民間の執務つ振りは簡便です（立聞生）▲明治町漢城病院の裏通りに毎夜十二時過ぎになると若き婦人が人待ち顏に佇來に佇みて居るが何物だらう（怪生）▲一昨夜の南山公園は若い男女を以て充たされて居たが紀念劍碑の邊

▲日宗生命の解散　日宗生命は前韓國全道に於ける警備電話の新設は十日より新竹臨勇線の總攻撃を開始し

▲警備電話の新設　從前韓國全道に於ける警備電話の新設は十日より新竹臨勇線の總攻撃を開始し

▲臨勇線の總攻撃　蒼海總督府にては十日より新竹臨勇線の總攻撃を開始し

EDP 品質精良且廉價にして 御進物に最適當なる高尙優美の士耳古・埃及金口莫及葉巻各種（百本入七十五錢以上）大安賣卸 小賣速に御來店御試み給へ見本無代 本町二丁目 直輸入商 日希會

●紳士の遊興振

右は筆者病氣の爲め本日休載

●天氣豫報（自十一日午後六時至十二日午後六時）

北東の風晴後曇

最高溫度　九四、六
最低溫度　七一、七

十日（華氏）

廣告

マルイド 新鮮屋根材料 京城永樂町 藤原支店 電壹八九番

角商會代理店 前川自轉車店 京城南大門橋

◎牛乳（純良 消毒 檢査 濟）

◎韓國畜產株式會社 南大門外（電話八八番）

手選特等 白米現金値段 一五斗入 六圓九十五錢 廿貫方 同一升付 十四錢五厘

御賣は特に御相談申上候 京城本町一丁目（電話六三二番）

今村商店

東京

本店東京 京城大和町一丁目日の出橋際 大和屋 藤井出張店 電話二百〇五番

正札付大安賣 厘毛引なし 安心して買へ升

瑞西タバン 米國ウオルサム時計 米國アンソニヤ時計 時計會社韓國代理販賣店 韓國特約販賣店 獨逸國スカンジャ 自轉車特約販賣店 仁川本町 喜多金光堂本店 電話七五〇番 時計卸商 喜多金光堂支店 電話架設中 時計卸小賣 京城本町二丁目

萬能油 大下に大好評を得たる專賣特許 東京小原式石油厨爐 本にて圖の如く胴を取り外さず點火し直に使用し得る一大經濟要具なり無煙無臭にして最大强熱飯湯煮沸火を起して魚肉を燒く等一般の料理を即座に用を辨す 一時間の石油消費三勺一升の水七分間沸騰一升飯十八分間出來上る說明書申込次第送呈

代理店 京城本町三丁目 清和洋物金店 辻（電話五九五番）

軍旅必攜 MORITA'S HOTAN. 大日本 丹田寶丹 起死回生 寶丹 官許本家 東京市芝區三田四國町 守田治兵衛 明治十年地方廳機關製藥許可 大學東校免許 大寶至濟

代理店 新井藥房本店 新井藥房第一分店 新井藥房第二分店 京城南大門通三丁目（電話四百六十八番）京城南大門通九丁目（電話三千九百八十番）

電話增設開通 一七九番 內國通運株式會社京城支店 電話七〇八番

最新形堅牢無比 製靴和洋製皮販賣

統監府御用 鬼笑堂靴店 電話新橋三九四二番

御注文の節は御申越次第寸法用紙御送可申上候

●本紙切拔御注文の方は特に定價の二割引郵送無料

キット皮製 深ゴム編上ゲ 上等 七圓五十錢
ボックス皮製 同 中等 五圓五十錢
キット皮製 半長靴 九圓也
ボックス皮製 同 七圓五十錢

東京市麻布區永坂町

▲無料紹介欄▼

人員部

●英文代書 通譯應屬 本町一の七五中村

●商品販賣員募集 午前十時前希望者本人來談あれ 本町一、三巴酒店奥武田賣店（四一〇）

●被雇度 年廿九市内に確實保證人有韓語は通ず不問職業被雇たし氏名在社（四一二）

●韓語通譯 會社銀行又は商店を問はず韓語通譯に被雇たし 氏名在社（四一二）

●望家庭教師 某美術學校卒業生廿三歳市内相當の家に被雇たし 氏名在社（四一二）

●下女入用 年齢三十歳より四十歳迄にして身体壯健なる者至急入用但し月給八圓 氏名在社（四一七）

●被雇たし 月俸廿五圓以上を望む通信事務韓語韓譯中等教育年廿四不問職業 氏名在社（四一八）

●賣藥行商人數名募集 希望者は本人直接來談あれ 明治町三の一五七 水田藥房

物件部

●醫士開業向貸家あり 本町三丁目 替化堂藥局（四一一）

●貸家 南山町二丁目にて煉化造二階建十疊と外四間二階二間家賃面談 氏名在社（四一五）

各種 洗濯石鹸 専門製造販賣 用途 陸軍、鐵道、船舶、鑛道、鑛山、水道湯屋散髪、諸工業用

京城旭町二丁目 朝日石鹸製造所 （電話九七三番）

荒物世帶道具一切
和傘岐阜提灯釣道具 卸小賣
製白絞油和洋蠟燭
京城本町六丁目 西崎嘉七本店
電話長二一〇電略（ニカ又はニ）
振替貯金口座東京（九四一七番）
世帶道具 各國諸油米穀 麦酒 銘酒澤龜 並に買次業

●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す 弊場夙に此に留意し好良の食料を給す

●弊場搾取の牛乳を受取せらるゝ御諸君は最も滋養豐富風味佳良の牛乳を飲用し得らるべし

京城本町五丁目（電四九番）
京城東四軒町
販賣元川に松尾支店
搾取所

●本日より舊盆まで現金に限り正札より壹割引
●御買上金二圓以上は一割引の外に御添へ物進呈仕候
中元著中御進物用として美麗函入ハンカチフ石鹸香水メリヤスシャツ類襟飾カウス釦ズボン釣外洋服附屬品帽子洋傘ステッキ其他内外雜貨各種好適品取揃へ居候間多少に不拘御用命の程願上候

中元の賣出し
和洋雜貨商 池田長兵衛商店
京城本町三丁目
（電話二百〇六番）

土管 瓦 煉瓦

陶榮商店の販賣する土管は模範的工場に於て最新米國式機械を以てし知名技師の注意周到なる監督の許に精製せられたる最良品なり
陶榮商店の販賣する瓦は同工場最新米國式機械製品にして酷寒耐久には重き注意を加へられたる最良品なり
陶榮商店の販賣する煉瓦は同工場最新米國式機械精製品にして他に卓越せるは當販賣元の最も誇とする良品なり
右特約一手販賣仕候間多少に不拘御用命奉願候

陶磁器卸小賣 官製煙草元賣捌 土管瓦煉瓦販賣元
京城本町二丁目 陶榮商店（電話百十三番）

小賣 卸 純良 牛乳
京城東四軒町 岡野牧場 電話壹〇六九番
●滋養と牛乳●●●
●●●衛生と消毒●●●
馬車配達

京城本町丁目 富士の里茶舗 電話九七九番

懷中藥 代理店
京城南大門通三丁目 藥井藥房本店 電話一〇六八番九〇四番
京城本町三丁目 新井藥房第一分店 電話四七八番
京城南大門外 新井藥房第二分店

完全ナル 仁丹 THE JINTAN
各種藥品 各地藥店にあり

梅毒 毒滅 リウマチス 新藥
各種藥品 各地藥店にあり

眼科專門
京城本町一丁目憲兵分遣所前 江頭眼科醫院 電話三三三
前漢城病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄

▲清潔の下宿▼
▲懇切の下宿▼
客室の清潔と調度の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程願申上候
壽町二丁目十番戸横小路（元花屋）
かめ屋

入院隨意
内科 外科 小兒病
京城壽町三丁目 高井醫院 電話（二一六）

梅毒淋病
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

待合 貸席 入船

南山の風景を目前に眺め 浴場の設備あり
京城南山町一丁目

梅毒專門 皮膚病一般
京城南大門朝市場櫻家旅館内 神戸資生院長 出張診察所
電話三百十二番
痔 注射療法（不要入院）
元兵庫縣立福原驛梅病院醫長 醫學得業士 蘆田耕平
○資力乏しき病者には割引又は施療を爲す
院長府立大坂病院專攻
南門湯横に病院新築中に付き本月末移轉開院す

●毎日午後 京城明治町一丁目
●開會諸君 京城南大門
●子陸續御 （大和湯前○万隣）
●臨を賜へ
●市中の仙境

●消閑の清遊

京城碁會

元祖 殺菌 牛乳・平山牧場
京城大和町壹丁目 電話一三三

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候

代書 ゴム印彫刻
京城本町二丁目 南部警察署前 成巧館代書部 成巧館彫刻部

京城南山町四丁目 原金旅館 （電話長七〇一番）

大東京災海上運送保險株式會社
明治廿年七月創立● 京城代辨店 本町四山口吳服店 電話九番
資本金一千萬圓● 事務所 京城本町二の三電話一〇六〇番

大上商店
京城本町五丁目
清物味噌醬油製造元
和洋酒、精酊、穀物麵類、銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糧、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候
（電話二一五一番）

中元賣出し

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）
辯護士 岡田榮
京城旭町一丁目六十七番戸
（電話三九八番）

請官衙御用品調達
營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類
各學校御用品調達
委託販賣
東京ランバータ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
藤田合名會社
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
臺灣合資會社食鹽特約店

本社 京城朝治町二丁目 電話二三〇番
出張所 東京市神田區淡路町一丁目十番地 電話神田三九六二

★株式會社百三十銀行 韓國總支店 京城本町二丁目十五番戸 電話五十八番
資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎
爲替取組先
殺菌 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市、名古屋、東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、四日市、津、山田、桑名、松阪、彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七崎、高崎、小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、宮山、伏木、新潟、豐岡、鳥取、米子、機、松江、八手、大田、糸島、新鶴、新鶴、豐岡、鳥取、米子、機、松江、八手、大田、糸島、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、新府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、柳山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾州、本濱、德島、香通、寺丸亀、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、福岡、若松、久直方、飯塚、博多、福岡、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、函館、小樽、札幌、臺北、臺南、淡水、基隆、釜山、元山、鎮南浦、平壤、仁川、釜山、元山、鎮南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、尙州、馬山、銀行一般の業務精々便利取扱可申候

特定御用 清酒 大特別醸造 牛乳 化粧品 荒井牧場 電話一〇五六番

日本郵船會社 仁川出帆廣告
電話十番
仁川海岸通 電話二九番 郡回漕店
貨物及船客取扱店
●釜山長崎門司神戸行 山東丸 八月二十九日午後三時出
●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 九月 九日正午時出
●大連、大沽、牛莊行 山東丸 八月 十七日午前四時出
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 八月 廿六日正午
●釜山出帆、元山、淄津、浦鹽行 立神丸 八月十八日午後出
御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候 注意 送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新州鮮 ▲一枚金二錢▲一ケ月納金卅五錢▲三ケ月金四錢▲六ケ月納金八錢▲一ケ月納金卅五錢▲三ケ月金四錢▲六ケ月納金八錢 ▲五號活字十九字詰一行一回五十錢▲特別廣告五號活字十九字詰一行金六十錢
●廣告料 ▲一行金二錢▲一ケ月納金卅五錢▲三ケ月金四錢▲六ケ月納金八錢 ▲特別廣告五號活字十九字詰一行金六十錢
會社事務所 京城西門外門通 高木久馬 久神一郎
印刷人 京城西門外門通 高木久馬
發行所 京城新報社 電話六六三番